

ProjDepot 先端技術の研究成果を基に ニーズの高い「チーム開発の効率化」を実現

ソフトウェア開発のプロジェクトでは、様々な役割を持つエンジニア、顧客側の担当者など多くの人々と多種多様な情報が関わるため、情報周知に時間が掛かったり、伝達漏れが起こったりします。ソフトウェアの要件や環境は複雑化する一方で、納期までの期間も短くなっており、「チーム開発の効率化」は多くの企業にとって重要な課題です。

「ProjDepot」は、SRA先端技術研究所が「**インタラクショナルデザイン**」の研究成果とSRAのソフトウェア開発現場で実績のある「オープンソース・ソフトウェア」を活用し開発した自社IP製品です。チーム開発に必要な機能をまとめて提供し、ソフトウェア開発を一元的に管理できる「ProjDepot」は効率的なチーム開発を可能とします。

SRAは「ProjDepot」を業務システム、組込ソフトウェア、ウェブサイト、モバイルアプリなどの開発会社や、開発会社に発注し管理を行う企業、大学、官公庁等に対し販売し、併せてコンサルティングサービスも提供していきます。

インタラクショナルデザイン：利用者がシステムを使うという一連のやりとり「インタラクショナル」に注目し、製品の機能品質に加え、**操作品質も重視するという先進的なデザイン手法**

※ProjDepot：商標登録出願中

証券コード 3817

2015年3月期 第2四半期 株主通信

2014年4月1日～2014年9月30日

株式会社 SRAホールディングス

<http://www.sra-hd.co.jp/>
〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-32-8
TEL：03-5979-2666

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先

〒137-8081 東京都江東区東砂 7-10-11
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL：0120-232-711（フリーダイヤル）

株主の皆様へ

皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

情報サービス業界におきましては、IT投資は回復基調で推移しましたが、足元の受注環境については引き続き、競争激化による厳しい状況が続いております。

そのような状況のもと、第2四半期の業績につきましては、前年同期比で売上高が増加し、粗利益の増加等により営業利益、経常利益も共に増加しました。

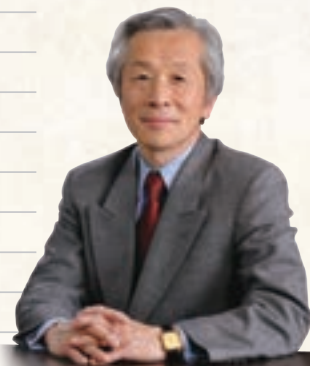
一方、当社グループ保有の株式会社SJIの株式について、投資有価証券評価損を特別損失として計上したため、四半期純損失を計上しました。

なお、配当については、今年度より1株につき17円の間配当を実施し、期末配当は1株につき28円〔年間配当45円（5円増配）〕を計画しております。

皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年11月

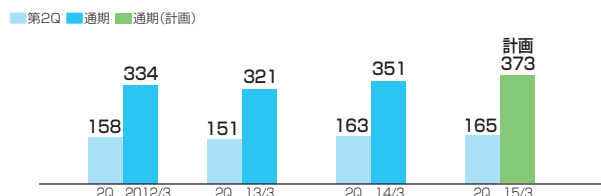
株式会社SRAホールディングス
代表取締役社長 鹿馬 亨



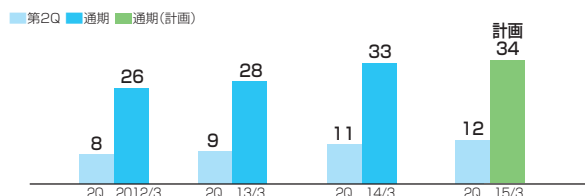
第2四半期 連結業績ハイライト

※表示単位未満を切り捨てて表示

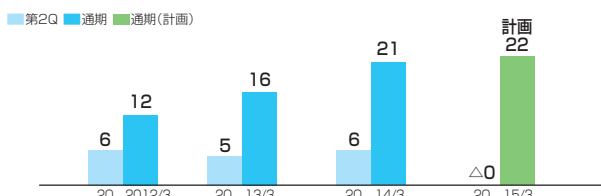
売上高 **165億円** 通期計画：373億円 (単位：億円)



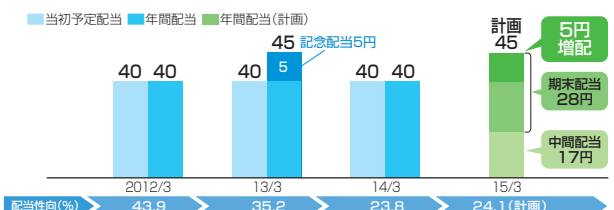
経常利益 **12億円** 通期計画：34億円 (単位：億円)



当期純利益 **△0億円** 通期計画：22億円 (単位：億円)



1株当たり配当金 (単位：円)



配当性向(%) 43.9 → 35.2 → 23.8 → 24.1(計画)